

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	河川防災フォーラム2026	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、行政機関や学術・民間の有識者の講演等により、北陸地域における河川整備の方向性やそのあり方について、最新の河川災害の情報も交えて考える機会を提供することを目的とする。今回は「令和6年1月能登半島地震による河川堤防の地盤液状化被害及び対策とその課題を考える」をテーマに具体的な液状化被害からその対策と課題等について議論した。

2. 事業実施体制

主催: 特定非営利活動法人水環境技術研究会
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会
 後援: 国土交通省北陸地方整備局、新潟県

3. 事業概要

テーマ: 令和7年8-9月豪雨による内水氾濫被害の問題点と対策に向けた課題を考える

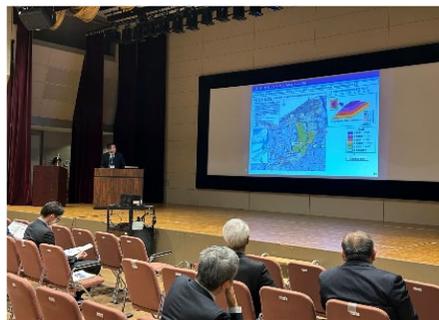
日時: 令和7年2月5日(木) 13:30~17:00
 会場: 新潟市万代市民会館(オンライン併催)
 プログラム:

- 講演1「令和7年夏の記録的な高温と少雨、豪雨について」
中村 誠(気象庁新潟気象台)
- 講演2「上越市の内水対策と令和7年9月3日の大雨被害について」
小林 司(上越市都市整備部)
- 講演3「新潟市における内水氾濫の状況と総合的な浸水対策について」
佐藤 公康(新潟市下水道部)
- 講演4「信濃川下流域における内外水リスクマップの整備に関する取組」
酒向 秀典(国土交通省信濃川下流河川事務所)
- 総合討論: コーディネーター 陸 旻皎(水環境技術研究会)

参加者: 会場95名、オンライン352名 計447名

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は平成23年7月新潟・福島豪雨災害を契機に始まり、今回で15回目を数える。河川防災に関わる今日的課題・取り組みについて、主に河川行政関係者を講師に開催してきている。
 令和7年は7月の異常な高温・渇水から一転して8月、9月は豪雨で上越市などで内水氾濫が発生した。上越市及び新潟市における浸水対策を理解し、さらには内外水リスクマップ整備の取組事例から今後の下水道を含めた災害対策に大いに役立つものとなった。



講演



総合討論

